

4年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(全国学力・学習状況調査)は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。学校の教育活動に対して支援していただければありがたいと思います。

〈国語〉

○成果……漢字を書く・物語の内容を読み取る

「漢字を書く」の正答率は 82.5%(目標値 75%)、「物語の内容を読み取る」の正答率は 84.2%(目標値 75%)でした。学校では、授業や朝のスキルタイムで漢字の指導を丁寧に行った成果として理解が上がったとともに、物語文の読み取りの際に、児童自身が学習計画を立てて取り組んだ成果であると思われます。

●課題……説明文の内容を読み取る

「説明文の内容を読み取る」の正答率は 47.4%(目標値 60%)大きく目標値を下回る結果となりました。物語文と説明文の読み取り方の違いを理解できていないことや筆者の主張をとらえにくい児童が多かったことが結果に表れたと考えられます。

課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

物語文の読み取りと同様に説明文の読み取りの際も学習計画を立て、筆者の主張を読み取るために文章構造を理解することのできる授業を行うとともに、説明文特有の接続詞や読者への呼びかけに注意して資料を読んでいくことを学習に取り入れて指導します。また、児童が自分の考えを説明する際にも、説明文で扱うような言葉を使い、友達に説明ができるように練習していきます。

○成果……図形、表とぼうグラフ

「図形」の正答率は 86%(目標値 73.3%)でした。また、「表とぼうグラフ」の正答率は 70.2%(目標値 53.3%)でした。これは、具体物を使って考えたり、図やグラフ、表を実際にかいたりする活動を授業で多く取り入れた成果だと考えます。

●課題……かけ算、□を使った式

目標値を下回る問題はありましたが、「かけ算」の正答率は 55.3%で目標値(55.0%)と同程度でした。35×14 の計算の工夫を説明する問題や、□を使って乗法の式に表す問題でのつまずきが見られました。これらの問題から、与えられた条件を読み取り、式や説明に表すことへの課題があると考えられます。

課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

問題の中で「問われていることは何なのか」「式に表現するにはどうしたらよいか」について学ばせています。また、授業の中でも友達への説明や思考の言語化をするような活動を多く取り入れていきます。

〈算数〉

【保護者の方へのお願い】

市調査の結果から、予習や復習を行っている児童が少ないということがわかりました。習ったことを確実に身に付けるためには、その日に学校で学習した内容を自主勉強ノートにまとめたり、テストで間違ったところを

おさらいしたりといった復習をしっかりとすることが大切です。ご家庭でも声をかけてください。